



医療法人社団 樫の木会

大島くるみ病院

〒939-0271

富山県射水市大島北野48番地

Tel0766-52-2580 Fax0766-52-8016

<http://www.kurumi.or.jp>

新型コロナウイルス感染が大都市で急拡大しています。特に東京・大阪が爆発的に増え、不要不急の外出自粛やテレワークの普及等で人の移動が大きく減少しているなか、JRの山手線で品川―田町間に30番目の新駅として「高輪ゲートウェイ駅」が3月9日に誕生しました。路線乗り換えや周辺施設をAIで案内するロボットや店員がいない無人店舗も備え「未来の駅」というコンセプトは、東京五輪で訪れる外国人には日本の技術力と「おもてなし」の心をPRする大きな話題の一つになったはず。2024年には高層ビル群と一体のビジネス拠点として本格開業の予定です。

## ～25年目を迎えて～

「大島くるみ病院」は令和2年4月1日から設立25年目を迎えます。発足から24年間、患者さん・利用者さん・またそのご家族、さらには大島地域をくるみ、医療支援ができる病院として対応してきました。

その間、当院のホームページの病院沿革に記載されておりますように、医療環境の変化に応じて、当院の体制も様々な形をとってきました。平成18年7月には日本医療機能評価機構より療養型病院として認定を受けております。現在は、療養型医療病棟99床、介護医療院50床を中心に居宅支援介護事業、短期入所生活介護(くるみショートケア)37床、通所リハビリテーション定員50名、さらには外来部門で連携を取りながら、職員一同、医療業務に励んでおります。

さらには、日常の診療業務のみならず、各部門での研修、院内発表会、院外での報告、秋には地域の皆様の健康に役立つように医学講座を設けております。また、患者さん・利用者さんの人間としての尊厳また、安全を確保するために、倫理部門、安全部門、感染対策としての部門を確立し、地域の他の医療機関との連携も進めているところです。

冒頭に当院が25年目であることを書きましたが、人生に例えるなら、成人後に大学を卒業し、社会人として自分の立つ位置について理解をし始めるころです。今後、社会における当院の役割が、地域の皆さんとともに愛される病院として認知されるように努力をしていく所存であります。

今月は堅苦しい「くるみだより」となりましたが、これからもよろしくお願ひ致します。

副院長 水巻 康



# 褥瘡対策研修会

今回の研修は、学研ナーシングのビデオを見ながら、褥瘡のサインとなる前兆を見逃さないことが重要だということを学びました。

また、褥瘡の評価方法を学び、そして評価する事によって、その褥瘡を持っている患者、又は利用者に携わるすべての従事者がその評価で、判断・対処がすばやく出来る事が分かりました。



日時：3月4日（水）

5日（木）

参加人数：84名

# 安全対策研修会

学研ナーシングのビデオで「病院の職員みんなで医療安全を考えてみよう」というテーマで研修を行いました。ヒューマンエラー対策は安全に業務を進めて行くにあたって必須であり、チームや組織全体のあり方を改善しなければ事故は防止できません。専門技術を支援し、仕事が効率的・効果的に実施できるようにする為の技術が管理技術であり、医療安全にこの技術が求められます。よって安全対策は話しやすい環境を作り、職員全体で取り組まなければならないと認識しました。

日時：3月18日（水）

19日（木）

参加人数：111名



4月

# Happy Birthday

松本	ハルヨ	様	96歳	姫野	律子	様	72歳
柿谷	百合	様	90歳	桃井	春子	様	95歳
鍛冶	喜枝	様	98歳	高畠	榮一	様	88歳
中島	慧子	様	81歳	大戸	芳子	様	87歳
馬淵	桂雲	様	89歳	中村	慎也	様	63歳
林原	慶子	様	80歳	福井	かずい	様	94歳
長徳	律子	様	76歳	旅	幸子	様	75歳
仙納	弘	様	66歳	日置	一子	様	97歳
高橋	春子	様	93歳	三箇	晃	様	84歳
嶋	正子	様	79歳	羽廣	春美	様	72歳

★デイケア・ショートケアの方も掲載しています。

## 今月の顔



北2階 姫野 律子様

### ☆編集後記☆

世界中に蔓延している新型コロナウイルス。東京オリンピックも延期され、経済的にも色々な影響を及ぼしています。入学式、入社式のシーズンですが自粛ムードで、春といえども手放しで喜べない今日この頃です。(K)

### 基本理念

患者さんの生命と人権を尊重した医療・看護・介護に努めます。  
信頼され安心して利用される施設・在宅支援サービスを提供します。  
地域と連携し高齢者医療の中核病院を目指します。  
職員は常に自己研鑽に励み、医療・看護・介護の質の向上に努力します。

平成23年3月7日改定

### 運営指針

- 1 私たちは、思いやりの心をもって利用者の方々の自立支援を行います。
- 2 私たちは、感謝の気持ちをもって、利用者の方々に接します。
- 3 私たちは、小さな努力を一步一步積み重ねて、利用者の方々の笑顔を得たいと考えます。
- 4 私たちは、利用者の方々の長年の苦勞に敬意をはらって、介護サービスをいたします。
- 5 私たちは、利用者の方々からのご意見、ご提案に耳を傾けます。
- 6 私たちは、入所・入院しておられる方々に医療情報を積極的に公開し安心と納得の医療に努めます